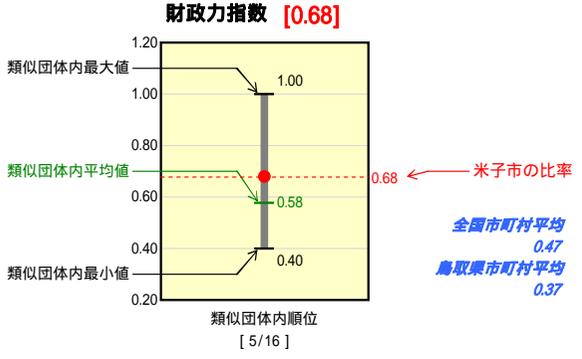


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

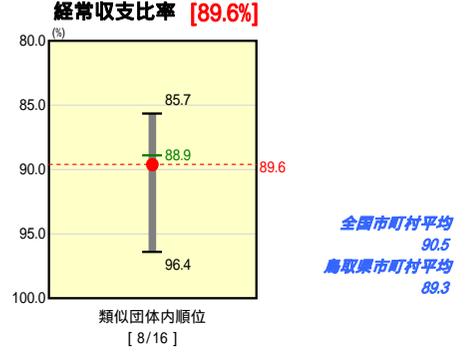
鳥取県 米子市

人口	149,803人(H17.3.31現在)
面積	132.21 km ²
歳入総額	55,231,508千円
歳出総額	54,755,454千円
実質収支	386,530千円

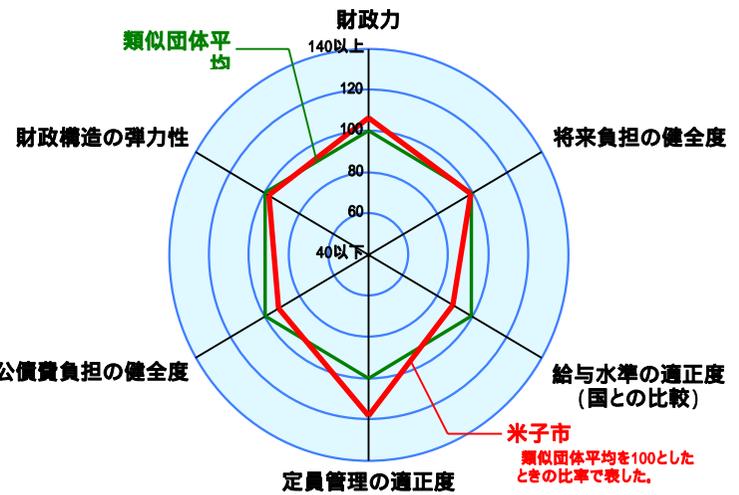
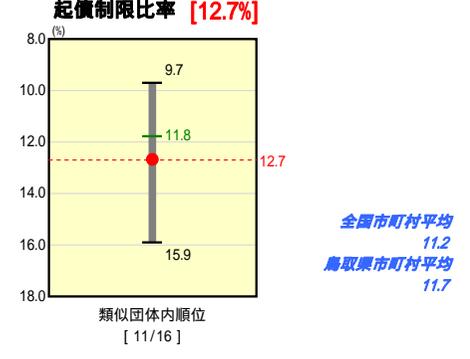
財政力



財政構造の弾力性



公債費負担の健全度



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析概

財政力指数
類似団体平均を0.1ポイント上回っているものの、近年では、景気低迷による地方税の減収により、本市の財政力指数は低下傾向にあります。また、地方債の元利償還金及び扶助費等の増が財政力指数の分母となる基準財政需要額を押し上げていることも、財政力指数の低下要因のひとつです。

経常収支比率
前年度より3.9ポイント上昇し、類似団体平均を0.7ポイント上回っています。これは、新清掃工場建設事業の起債償還開始に伴う公債費の大幅増及び扶助費の増などにより経常経費充当一般財源が増加したことに加え、臨時財政対策債の大幅減により経常一般財源等が減少したことによるものです。

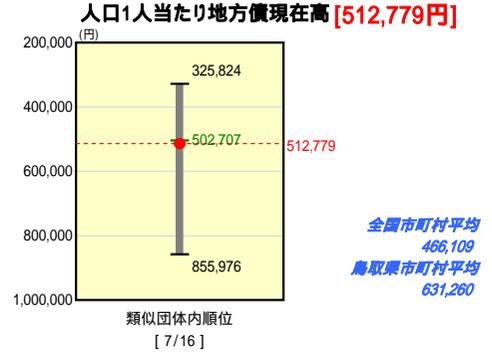
起債制限比率
前年度より0.1ポイント上昇し、類似団体平均を0.9ポイント上回っています。これは、過去に実施してきた大規模プロジェクト事業(米子駅前西土地区画整理事業、国際会議場整備事業、福祉保健総合センター建設事業、新清掃工場建設事業等)によるものが主な要因ですが、公債費負担適正化計画に基づく高金利起債の繰上償還、借入額の抑制等により、平成17年度以降は、起債制限比率の上昇は避けられる見込みです。

人口1人当たり地方債現在高
類似団体平均を僅かに上回っていますが、起債制限比率で述べたとおり、平成17年度以降は減少する見込みです。

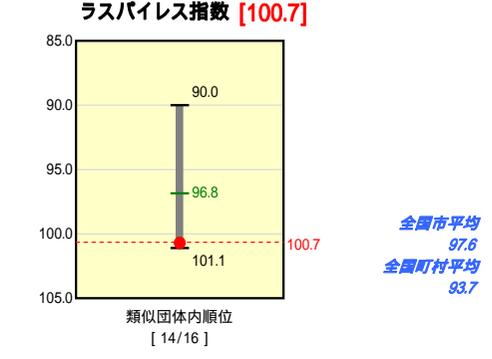
ラスパイレス指数
平成17年4月1日現在のラスパイレス指数は、100.7ですが、同年7月から平均3.19%の給与カットを実施し、水準を引き下げました。

定員管理の適正度
全国平均を2.65人下回り、類似団体中、最も少ない職員数となっておりますが、今後も更なる適正化に向け、5年間で57人以上の削減を目標としています。

将来負担の健全度



給与水準の適正度(国との比較)



定員管理の適正度

